

福岡第一工場に自動製函・梱包ラインを新規導入し、 ロール製品搬送からパレタイズまでの工程を自動化

丸東産業株式会社（本社：福岡県小郡市、代表取締役社長：菅原正之）は、福岡第一工場に自動製函・梱包ラインを導入し、2026年3月より本格稼働を開始しました。



背景：労働力不足と作業者の負担軽減

従来のロール製品梱包作業は、作業者が手作業でロール製品を扱い、梱包箱に詰めるという作業工程が一般的でした。しかし、この方法は作業者の身体的負担が大きく、また、深刻化する労働力不足への対策が急務となっていました。こうした背景を受け、当社では生産工程の自動化を推進し、作業者の負担軽減と生産性向上の両立を図る取り組みを進めて参りました。

導入効果：省力・省人化、生産性向上、労働環境改善

今回導入したラインは、工程の必要条件を満たした自動製函・梱包・パレタイズラインです。このラインは当社独自のカスタマイズ設計として構築しました。本ラインでは、巻き径（直径）、重量、入り数の異なるロール製品の搬送から識別ラベルの読み取り、梱包、パレットへの積み付けまでの一連の工程を自動化しています。さらに、段ボールの自動製函・自動封函に加え、オートラベラーのインライン化、梱包ミス

の「ゼロ」化も実現しました。また、適応範囲も幅広く約 10,000 通りの対応が可能となっており、これだけの多品種に対応できるロール自動梱包ラインの稼働は国内において当社が*業界初となります。これにより、作業者の身体的負担を大幅に軽減するとともに、省力・省人化を推進し、生産性の向上と労働環境の改善に貢献しています。

*2026.1 時点 当社調べ

今後の展望：パレタイズラインの増設、お客様の競争力強化へ

今回の自動製函・梱包・パレタイズラインの導入により、人手作業が大幅に削減され、本工程の生産性は当初の目標値を上回る水準まで改善しました。今後は本ラインを起点として、パレタイズラインの増設や、スリッターロールを積載したパレットを AGV (自動搬送車) により梱包ラインへ搬送する仕組みの導入など、より高度な高効率製造ラインの構築を計画しています。これにより、本工程のさらなる自動化・効率化を進めるとともに、ヒューマンエラー「ゼロ」化実現による品質向上や納期短縮を図り、お客様の競争力強化に貢献する生産体制の確立を目指します。また、従業員がより働きやすい環境づくりにも積極的に取り組み、持続可能な事業展開を進めて参ります。

<本件に関するお問い合わせ>

報道各社様からのお問い合わせ

丸東産業株式会社 取締役総務本部本部長 加藤 博文

Tel : 0942 (73) 3845 Fax : 0942 (73) 3848

Email : kato.hirofumi@marutosangyo.co.jp